

JAたかつき自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに
JA たかつきは総合事業を展開します

私たちJAたかつきは、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に取り組みます。このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。

そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、
みんなの願いをかなえていく組織です。

- JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。
- 農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- 農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。
- 信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。
- いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

具体的な取り組みは、別紙の第8次総合経営計画（P.65～P.73）をご覧ください。
主な取り組みを次の3点により紹介します。

1. 地域農業の持続可能性の確保（営農改善費：34,131千円 令和元年度）
 - ・総合営農センター機能を十二分に発揮し、管内基幹作物である地元産米の更なるブランド化を進め生産奨励施策（特別奨励金）を図るとともに、組合員の地元産米希望売り渡し数量の全量を集荷。
 - ・地元産米販売強化（販売目標 59,000袋/10kg）
 - ・共同利用施設をフル活用し、水稻苗の供給・粉穀乾燥調製等の強化により生産コストの低減（水稻苗 38,000箱）
 - ・ふれあい農業塾を充実・強化し、担い手育成や栽培技術の向上のための各種研修会の開催
2. JA地域活動の充実・活性化（生活改善費：3,500千円 令和元年度）

地域に愛され、地域に必要とされる協同組合として農家と地域住民とをつなげる支店を中心とするふれあいまつり（4支店）・遊休農地を利用した各種イベント（1地区）・地元産農産物の朝市（3地区）等の積極的な取り組み。

食農教育活動、次世代を担う子どもたちに、農に触れることで、食とのつながりを身近に感じる機会の提供（学校学習田：管内全小学校、出張授業、出前授業 4 校）

3. 地域農業の魅力発信（教育情報費：10,170 千円 令和元年度）

農業政策、農地活用、栽培等農業に関わる情報を地域に発信。

生産者と消費者を結ぶ活動として朝市や農産物直売所・支店を拠点とした情報発信（ホームページなどにより随時発信）や広報誌の内容充実（年 12 回発行）に努めるとともに支店だより（全支店）の発行に積極的に取り組む。